

「**作家二条家の江戸時代**
京都教育大学所蔵二条家文書を読み解く」



まなびの森ミュージアム

2015年

11月14日 **土** - 12月25日 **金**

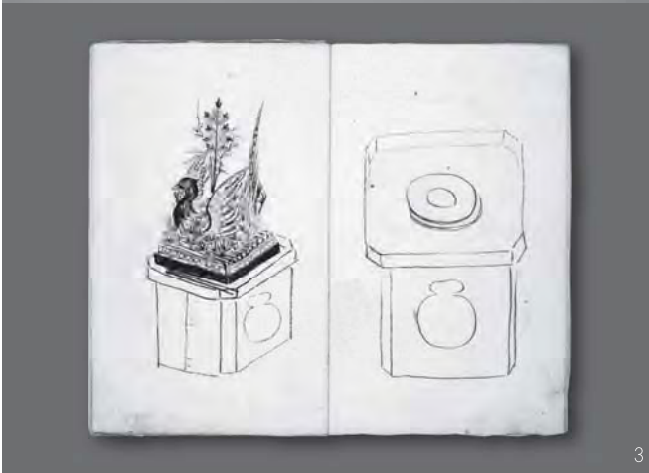
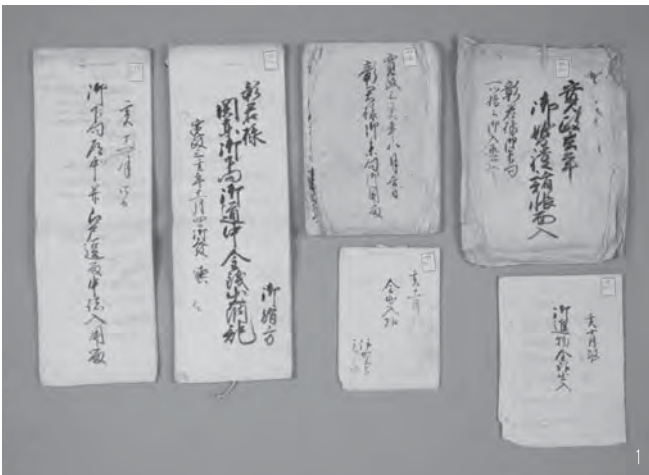
開館日 : 月・水・金・日 (11/23 [月], 12/23 [水] は閉館)

開館時間 : 13:30 - 17:00

入館料 : 無料



十世紀末から十一世紀前葉にかけて藤原道長が権力を掌握して以降、天皇の政治を代行・補佐する摂政・関白の職は、その子孫たちによって独占されることとなった。十三世紀には、近衛・鷹司・九条・二条・一条の五つの家に分立して、摂家と呼ばれる家格が成立したが、以後、摂家は、明治維新にいたるまで、公家の最高家格として朝廷の政治・文化の中核を担うこととなる。京都教育大学教育資料館には、十八・十九世紀代の摂家二条家の旧蔵文書が三七〇点ほど所蔵されており、江戸時代から明治初期にかけての公家社会の様子を見る上で格好の資料といえる。この展示では、近年、その整理が終了した二条家文書の概要を、記載内容を読み解くという形でわかりやすく紹介したい。



- 1 彰君婚礼諸帳
(二条治孝の娘隆子(彰君)と一橋治国の婚姻に関する記録)
(京都教育大学 教育資料館蔵)
- 2 二条家邸発掘調査出土資料 一式
(同志社大学 歴史資料館蔵)
- 3 年末年始年中行事調帳(年末から年頭の儀式用の献立)
(京都教育大学 教育資料館蔵)

■ 講演会のご案内 ■

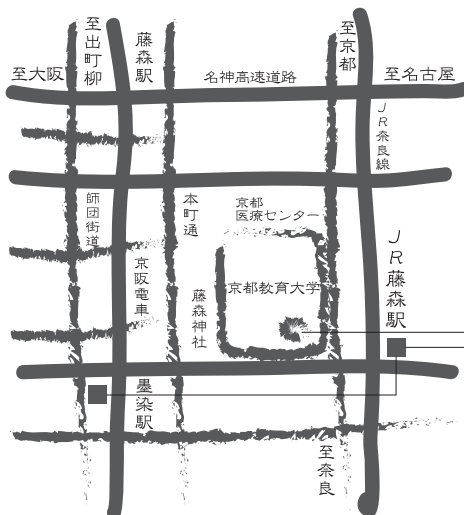
「京都教育大学所蔵の二条家文章について」
吉江崇(社会科学科准教授)

日程：11月29日(日)

時間：14時～15時

会場：京都教育大学 教育資料館
シアター(2F)

※事前申込不要





MUSEUM OF EDUCATION
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION

まなびの森ミュージアム

京都市伏見区深草藤森町1番地

☎ 075-644-8840/8176

JR 奈良線 JR 藤森駅下車 徒歩約3分
京阪本線 墨染駅下車 徒歩約7分